

令和7年度開講科目

**大学・学科のディプロマ・ポリシーと  
授業カリキュラムマップ**

令和6年12月26日

西日本工業大学      FD委員会   池田 英広

<< 目次 >>

項目	ページ数
1. 大学	1
2. 両学部のDP（教養科目）	3
3. 工学部・総合システム工学科ポリシー	5
学部共通科目カリキュラムマップ	7
機械工学系・電気情報工学系カリキュラムマップ	8
土木工学系カリキュラムマップ	11
4. デザイン学部・建築学科及び情報デザイン学科ポリシー	12
学部共通科目カリキュラムマップ	14
建築学科カリキュラムマップ	15
情報デザイン学科カリキュラムマップ	16
5. 教職に関係する科目のうち、教職に関する科目	17
6. 大学院工学研究科	19

<b>西日本工業大学</b>
<b>建学の理念</b>
西日本工業大学は、「人間性に支えられた高度な工業技術者を広く学術の研鑽を通じて育成する」ことを建学の理念とし、豊かな人間性を育み、十分な基礎学力、幅広い社会・科学等の知識を持った職業人育成に重点を置き、地域・社会から信頼され、地域・社会に貢献する大学を目指している。
<b>使命・目的</b>
「工業に関する専門の学術と一般の学芸とを教授研究し、かつ、人格の形成と陶冶を図り、もって文化の向上に寄与する」ことを使命・目的としている。
<b>教育目標・方針</b>
建学の理念に沿って、「豊かな人間性の錬成と優れた工業技術者の育成」を教育目標としている。責任感、誠実さ、協調性などの徳育に重点を置いた人間性教育を基本とし、国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる高度技術者の育成、未知の分野に立ち向かうことのできる気力と自信を持った技術者の育成を図る。
<b>人材養成目標</b>
建学の理念に沿って、次の人材を養成することを目標としている。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力に富む技術者 2) 自信・気力・創意工夫力に富む人材 3) 産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・起業家 4) 地域社会、地域産業に貢献する技術者
<b>ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)</b>
所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとして、主体性をもって多様な人々と協働しながら課題や目標に取り組むことができる。【主体性・協働して学ぶ態度】 2) 創意工夫力・問題解決力 人間社会における諸問題を多面的に考え、創意工夫しながら、粘り強く課題解決に取り組むことができる。【思考・判断・表現】 3) 専門的知識・技術の活用力及び実務型技術者としての実践力 産業界を支える技術者として、ものづくりやデザインなどに関する基礎知識・実用技術などを課題解決に活用することができる。また、新たな技術を開拓・応用しながら成長していくことができる。【知識・技能】
<b>カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)</b>
カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。 1) 教養教育科目 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性を育むために、主に、初年次教育、キャリア教育、一般教養教育及び専門基礎教育から成る全学共通の教養教育科目を配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】 2) 社会人基礎力養成科目 社会人基礎力を育むために、学生が主体性をもって協働して学ぶ能動的授業科目を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】 3) 専門総合教育科目 自信・気力・創意工夫力を高め、主体的な課題解決力を養うために、各学科専門科目群にゼミナール、卒業研究などの科目を配置する。【思考・判断・表現】 4) 学部共通科目・専門教育科目 産業界を支える技術者として、ものづくりやデザインなどに関する基礎知識・実用技術などを修得するために、学部共通科目群、専門教育科目群を配置する。【知識・技能】

## アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学は、「人を育て技術を拓く」を基本理念として掲げ、「豊かな人間性の錬成と優れた工業技術者の育成」を教育目標とし、責任感、誠実さ、協調性などの徳育に重点を置いた人間性教育を基本姿勢としています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

- 1) 本学の建学の精神・教育目標、教育方針をよく理解し、基礎的学力を有する人。 【知識・技能】
- 2) 多面的な考え方や基礎的なコミュニケーションができる学修意欲に富む人。 【思考・判断・表現】
- 3) 多様な人々と協働しながら主体的にものごとに取り組むことができる人。 【主体性・協働して学ぶ態度】
- 4) それぞれの学科の目指す目標に沿った資質向上、自己の研鑽に努めることができる人。

## 両学部のディプロマポリシー（教養教育科目用）

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与す

大学育成目標	教養教育科目のディプロマポリシー
1)豊かな人間性と社会人基礎力に富む技術者	<p><b>1) 豊かな人間性と社会人基礎力</b> 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。 【主体性・協働して学ぶ態度】</p>
2)自信・気力・創意工夫力に富む人材	<p><b>2) 創意工夫力・問題解決力</b> 人間社会における諸問題の原因を追究、発見し、工業技術やデザインの仕組みを理解した上で課題解決に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】</p>
3)産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・起業家 4)地域社会、地域産業に貢献する技術者	<p><b>3) 専門的知識・技術の活用力</b> ものづくりやデザインなどに関する基礎知識・応用技術を人間社会における諸課題の解決に活用することができる。 【知識・技能】</p> <p><b>4) 実務型技術者としての実践力</b> 工業技術やデザインの人間社会への寄与を正しく理解し、システムや製品の付加価値を高める工夫により地域社会に貢献することができる。 【知識・技能】</p>

## 教養教育科目のポリシー

ポリシー：豊かな人間性の錬成を目指す「教養」教育

### ①基礎力の修得

大学生に求められる常識や大学生活を送る上で必要な基礎的な知識、スキルを確実に修得する。

### ②幅広い教養の修得

社会生活とは何かを理解した上で、専門性を超えた様々な分野に関する知識や仕組み、工夫に触れることで、物事の多角的な見方・捉え方を身につける。

### ③深い教養の修得

日常によくある現象について改めて深く見つめ直すことにより、自然や社会との関係の中での人間を深く知り、豊かな人間性の涵養を図る。

### ④総合的な判断力の修得

現代社会が抱える複雑多岐に亘る諸問題を学際的・国際的な観点から眺めることにより、それらに柔軟にかつ機敏に対応できる判断力を養う。

### ⑤主体的な進路選択能力の修得

望ましい職業観や職業に関する知識や技能を身につけることにより、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を体得する。

教養教育科目			1	2	3	4		
区分	科目番号	科目名	豊かな人間性と社会人基礎力	創意工夫力・問題解決力	専門的知識・技術の活用力	実務型技術者としての実践力		
教養教育科目	基礎スキル科目	CD001	連携講座(基礎スキル)	○	○			
		CD101	スタートアップセミナーⅠ	○	○			
		CD102	スタートアップセミナーⅡ	○	○			
	総合共通科目	CE001	自主研究		○	○	○	
		CE002	連携講座(総合共通)		○	○	○	
		CE101	総合人間科学	○	○			
		CE102	総合社会科学	○	○			
		CE103	体育Ⅰ	○				
		CE104	体育Ⅱ	○				
		CE105	福岡地域学	○		○	○	
		CE106	日本国憲法	○				
		CE111	社会生活とリベラルアーツの基礎	○	○			
		CE302	キャリアプランⅠ		○	○		
		CE303	キャリアプランⅡ		○	○		
		CE501	ものづくりと倫理		○	○		
		CE502	キャリアデザインⅠ			○	○	
		CE503	キャリアデザインⅡ			○	○	
		専門基礎科目	基礎系	CF001	COCプロジェクト	○		○
	CF101			経営学概論		○		○
	CF102			情報リテラシー	○	○		
	CF301			コミュニティ論		○	○	
	語学系		CG001	連携講座(専門基礎)	○	○		
			CG105	中国語Ⅰ	○			
			CG107	日本語Ⅰ	○			
			CG108	日本語Ⅱ	○			
			CG109	日本語演習Ⅰ	○			
			CG110	日本語演習Ⅱ	○			
			CG111	英語Ⅰ	○			
			CG112	英語ⅠS	○			
			CG113	英語Ⅱ	○			
			CG114	英語ⅡS	○			
			CG115	韓国語	○			
			CG303	TOEICⅡ	○			
			CG304	中国語Ⅱ	○			
CG306			TOEICⅠ	○				
CG307			TOEICⅠS	○				
CG501			英会話Ⅰ	○				
CG502	英会話Ⅱ	○						

# 総合システム工学科

## 教育研究上の目的

本学の建学の理念、学部の目的に基づき、総合システム工学に関する理論及び技術を教授研究し、持続可能な社会形成に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成することを目的とする。(学則第2条の2(1))

## 人材養成像

総合システム工学に関する理論的及び技術的知識と情報技術能力、実務的技術能力を修得し、幅広い視野を持つ総合性を備えた人間性豊かな高度専門職業人を養成する。(学則第2条の3(1))

## ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。

### 1) 豊かな人間性と社会人基礎力

豊かな人間性と倫理観を備えた技術者として、人や社会貢献への使命感を有し、自己管理能力、チームで働く力、コミュニケーション能力を身につけ、課題や目標に向かって、主体的に取り組むことができる。【主体性・協働して学ぶ態度】

### 2) 創意工夫力・問題解決力

工学分野の幅広い総合的な思考力・判断力を用いて、創意工夫しながら社会的課題の発見やその解決に取り組むことができる。【思考・判断・表現】

### 3) 専門的知識・技術の活用力

工学分野における専門知識を身に付け、産業界を支える工業技術者として、社会的課題の解決に活用することができる。【知識・技能】

### 4) 実務型技術者としての実践力

最新の技術を継続的に学び、それらを実践的に応用しながら、産業界や地域社会に貢献することができる。【知識・技能】

## カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

### 1) 教養教育科目

豊かな人間性を有し、倫理観、社会性を身につけた技術者を育成するため、基礎スキル科目、総合共通科目、専門基礎科目(基礎系・語学系)群を配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】

### 2) 社会人基礎力養成科目

社会人基礎力を育むために、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を身につけることができるPBL型授業などの能動的授業科目を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】

### 3) 専門総合教育科目

技術者としての思考力・判断力・表現力を総合的に培う専門教育科目として、3年次にゼミナール、4年次にはより専門性の高い卒業研究科目を配置する。【思考・判断・表現】

### 4) 学部共通科目・専門教育科目

総合システム工学に関する基礎知識と実用技術を修得するために、1年次に自然科学の基礎科目群および工学分野の横断的科目群を配置する。2年次は専門分野の基礎科目群、3年次に応用科目群、4年次に総合的科目群を体系的に配置する。また、実用技術・技能を修得するために、1年次から3年次に実験・実習・ものづくり演習科目群を配置する。【知識・技能】

## アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

総合システム工学は、工学分野の幅広い総合的な思考力・判断力を用いて、創意工夫しながら社会的課題を解決していく学問です。そのため、総合システム工学科では幅広い教養と豊かな人間性を身につけた総合力のある優れた工業技術者の育成を目指しています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

1) 本学の建学の精神・教育目標、教育方針をよく理解し、総合システム工学の知識・技能・技術に強い関心と興味を持ち、これを修得するために必要な基礎学力を有する人。 【知識・技能】

2) ものづくりや創造的なことに関心があり、周りの人と協働して課題解決に取り組むことができるコミュニケーション能力を持つ人。 【思考・判断・表現】

3) 目標の達成に向けて、チームの仲間と協力し、主体的に情報収集、分析、アイデア出し、意見の調整、課題解決に取り組むことができる人。 【主体性・協働して学ぶ態度】

4) 将来、工業技術者として社会に貢献したいという志を持ち、それを実現するために自己研鑽し続けることができる人。 【思考・判断・表現】

工学部 学部共通科目			1	2	3	4
区分	科目番号	科目名	豊かな人間性と社会人基礎力	創意工夫力・問題解決力	専門的知識・技術の活用力	実務型技術者としての実践力
学部共通科目	EX101	工学概説		○		
	EX115	デザイン学概説	○	○		
	EX116	京築学	○			○
	EX117	データサイエンス入門	○	○	○	
	EX119	基礎数理学			○	
	EX120	基礎物理学 S			○	
	EX121	基礎物理学			○	
	EX122	物理学			○	
	EX123	線形代数学 I S			○	
	EX124	線形代数学 I			○	
	EX125	線形代数学 II S			○	
	EX126	線形代数学 II			○	
	EX127	微分積分学 I S			○	
	EX128	微分積分学 I			○	
	EX129	微分積分学 II S			○	
	EX130	微分積分学 II			○	
	EX131	データサイエンス基礎		○	○	
	EX132	スポーツ工学 I	○	○	○	
	EX133	スポーツ工学 II	○	○	○	
	EX318	スポーツ工学 III	○	○	○	
	EX303	常微分方程式			○	
	EX305	数値解析				○
	EX310	情報メディア論				○
	EX313	統計学 S			○	
	EX314	統計学			○	
	EX315	複素関数論			○	
	EX316	データエンジニアリング基礎		○	○	
	EX317	AI基礎		○	○	
	EX501	代数学 I			○	
	EX502	代数学 II			○	
	EX503	幾何学 I			○	
	EX504	幾何学 II			○	
	EX506	システム工学				○
	EX507	非破壊検査概論				○
	EX508	確率・統計 I			○	
	EX509	確率・統計 II			○	
EX510	esports基礎	○	○	○		
EX511	esports応用	○	○	○		
EX902	企業実習	○	○	○	○	

総合システム工学科 機械工学系・電気情報工学系			1	2	3	4
区分	科目番号	科目名	豊かな人間性と社会人基礎力	創意工夫力・問題解決力	専門的知識・技術の活用力	実務型技術者としての実践力
専門教育科目	1M151	ものづくり演習 I		○	○	○
	1M152	ものづくり演習 II		○	○	○
	1M153	計測工学			○	
	1M154	機械工作 I			○	○
	1M155	機械工作 II			○	○
	1M156	読図			○	○
	1M158	CAD I				○
	1M160	設備保全概説		○	○	○
	1M162	情報リテラシー応用		○	○	
	1M163	機械要素 I			○	
	1M164	機械要素 II			○	
	1M351	CAD II				○
	1M353	デジタルエンジニアリング				○
	1M357	CAE	○	○	○	
	1M360	機械要素 I			○	
	1M366	デジタルものづくり演習	○	○	○	○
	1M367	機械保全演習 I				○
	1M368	機械保全演習 II				○
	1M369	制御工学			○	
	1M371	エルゴノミクス概論			○	
	1M372	材料力学			○	○
	1M373	材料力学演習	○	○		
	1M374	機械力学			○	○
	1M375	機械力学演習	○	○		
	1M376	機械材料		○	○	○
	1M377	流体力学			○	○
	1M378	流体力学演習	○	○		
	1M379	熱力学			○	○
	1M380	熱力学演習	○	○		
	1M381	機械製図演習			○	○
	1M382	実践スクリプトプログラミング	○			○
	1M552	機構学	○	○	○	
	1M557	機械要素 II			○	
	1M561	シーケンス制御			○	
	1M562	ロボット工学			○	
	1M565	総合演習 I			○	○
	1M566	総合演習 II			○	○
	1M575	機械製図演習 II			○	○
	1M576	電子機械工学			○	
	1M577	機械工学演習			○	○
	1M579	機械設計・製図			○	○
	1M580	加工技術演習			○	○
	1M581	データサイエンス			○	
	1M582	自動車工学			○	
	1M901	総合システムゼミナール	○	○	○	○
1M991	卒業研究 I	○	○	○	○	
1M992	卒業研究 II	○	○	○	○	
2E151	電子計算機概論	○	○	○		
2E152	基礎電気回路 I		○	○		
2E153	基礎電気回路 II		○	○		

区分	科目番号	科目名	1 豊かな 人間性 と社会 人基礎 力	2 創意工 夫力・ 問題解 決力	3 専門的 知識・ 技術の 活用力	4 実務型 技術者 としての 実践力
専 門 教 育 科 目	2E155	基礎プログラミング演習		○	○	
	2E158	マルチメディア工学	○		○	
	2E159	基礎プログラミング I				○
	2E353	電子回路 I			○	
	2E354	メカトロニクス		○	○	
	2E355	基礎プログラミング II			○	
	2E356	電気回路 I			○	
	2E357	電気磁気学 I			○	
	2E358	エネルギー変換			○	
	2E359	コミュニケーション技術			○	
	2E364	電気電子計測			○	
	2E365	電子回路 II			○	
	2E367	電気回路 II			○	
	2E368	電気磁気学 II			○	
	2E369	電力工学			○	
	2E371	プログラミング	○		○	
	2E372	アルゴリズム設計		○	○	
	2E373	ロボット工学		○	○	○
	2E374	電気情報基礎演習 I	○	○	○	
	2E375	電気情報基礎演習 II	○	○	○	
	2E551	電子情報通信システム I			○	
	2E552	過渡解析 I			○	○
	2E553	情報構造			○	
	2E554	パワーエレクトロニクス			○	
	2E555	高電圧工学			○	
	2E556	電気機器			○	
	2E557	電力伝送システム I			○	
	2E558	システムソフトウェア			○	
	2E559	論理設計			○	○
	2E560	コンピュータ工学	○		○	
	2E562	デジタル制御工学		○	○	○
	2E564	電気電子工学実験 I	○	○	○	○
	2E567	電気電子材料			○	
	2E569	電子情報通信システム II			○	
	2E570	過渡解析 II			○	○
	2E572	電力伝送システム II			○	
	2E574	画像処理	○		○	
	2E575	ソフトウェア工学			○	
	2E576	コンピュータネットワーク			○	
	2E577	人工知能		○	○	○
	2E578	電気電子工学実験 II	○	○	○	○
2E581	データベース			○		
2E582	電力発生工学			○		
2E583	電気応用実験	○	○	○	○	
2E584	ハードウェア記述言語			○	○	
2E585	電気法規及び施設管理			○		
2E586	電気設計・製図			○	○	
2E587	知能制御工学演習 I	○	○	○	○	
2E588	情報工学演習 I	○	○	○	○	
2E589	設計技術基礎 I	○	○	○	○	
2E590	知能制御工学演習 II	○	○	○	○	
2E591	情報工学演習 II	○	○	○	○	

区分	科目 番号	科目名	1 豊かな 人間性 と社会 人基礎 力	2 創意工 夫力・ 問題解 決力	3 専門的 知識・ 技術の 活用力	4 実務型 技術者 としての 実践力
専門教育科目	2E592	設計技術基礎Ⅱ	○	○	○	○
	2E991	総合システムゼミナール	○	○	○	○
	2E992	卒業研究Ⅰ	○	○	○	○
	2E993	卒業研究Ⅱ	○	○	○	○

総合システム工学科 土木工学系			1	2	3	4
区分	科目番号	科目名	豊かな人間性と社会人基礎力	創意工夫力・問題解決力	専門的知識・技術の活用力	実務型技術者としての実践力
専門教育科目	3C101	CGデザイン				○
	3C102	CGデザイン演習				○
	3C107	土木工学概説	○		○	
	3C108	測量学Ⅰ			○	
	3C109	土木力学基礎			○	
	3C301	GIS				○
	3C318	環境アセスメント		○		○
	3C319	CAD				○
	3C320	土木材料学			○	
	3C321	GIS演習				○
	3C322	測量学実習	○		○	
	3C324	土木計画学			○	
	3C325	環境生態学			○	
	3C326	土木技術と社会		○		○
	3C327	データサイエンス演習		○	○	
	3C328	測量学Ⅱ			○	
	3C329	構造工学Ⅰ			○	
	3C330	水理学Ⅰ			○	
	3C331	土質力学Ⅰ			○	
	3C332	地球開発・防災工学演習		○	○	
	3C333	構造工学Ⅱ			○	
	3C334	水理学Ⅱ			○	
	3C335	土質力学Ⅱ			○	
	3C336	国土政策・環境共生演習		○	○	
	3C337	環境学			○	
	3C501	橋梁工学			○	
	3C504	河川工学			○	○
	3C505	水処理工学			○	
	3C507	環境計量学			○	
	3C509	海岸・港湾工学			○	
	3C510	廃棄物処理工学			○	○
	3C517	地域防災学			○	
	3C518	交通工学			○	
	3C519	土木工程管理学			○	
	3C520	都市・地域計画			○	
	3C551	土木工学実験Ⅰ		○	○	
3C552	土木工学実験Ⅱ		○	○		
3C553	土木工学設計		○		○	
3C554	土木施工学			○	○	
3C901	総合システムゼミナール	○	○	○	○	
3C991	卒業研究Ⅰ	○	○	○	○	
3C992	卒業研究Ⅱ	○	○	○	○	

## 建築学科

### 教育研究上の目的

本学の建学の理念、学部の目的に基づき、建築に関する理論及び技術を教授研究し、良好な社会環境・人間環境の形成に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成することを目的とする。(学則第2条の2(2))

### 人材養成像

建築に関する理論的及び技術的知識と情報技術能力、実務的技術能力を修得し、幅広い教養を備えた人間性豊かな高度専門職業人を養成する。(学則第2条の3(2))

### ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。

#### 1) 豊かな人間性と社会人基礎力

豊かな人間性を有し、主体性を持って他分野の人々と協働できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を習得し課題や目標に取り組むことができる。【主体性・協働して学ぶ態度】

#### 2) 創意工夫力・問題解決力

現代的課題を多面的に考え、創意工夫しながら解決する能力を持ち課題解決に取り組むことができる。【思考・判断・表現】

#### 3) 専門的知識・技術の活用力

建築学に関する基礎的な知識・技能・技術を着実に習得し、課題解決に活用することができる。【知識・技能】

#### 4) 実務型技術者としての実践力

生活空間や建築、都市、環境に関する幅広い知識を身につけ、地域社会や産業界に貢献することができる。【知識・技能】

### カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

#### 1) 教養教育科目

建築界に貢献するための幅広い知識と教養を身につけ、豊かな人間性を有し、倫理観、社会性を備えた人材を育てるため、基礎スキル科目、総合共通科目、専門基礎科目を配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】

#### 2) 社会人基礎力養成科目

生活空間や建築、都市、環境をとりまく現代的課題を発見し、学生が主体性を持って協働してそれを解決するデザインとプレゼンテーションの能力を養う能動的授業科目を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】

#### 3) 専門総合教育科目

3年次、4年次になるに従い、ゼミ形式の少人数教育を導入し、専門領域への関心と意欲を高め、それぞれの進路に対応したより専門性の高い知識を習得する科目を配置する。【思考・判断・表現】

#### 4) 学部共通科目・専門教育科目

1年次から実践的な課題解決のための演習を含む専門教育科目を配置し、2年次から年次を追って、より専門的な知識を取得する科目を配置する。【知識・技能】

### アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

建築学は工学、技術から芸術、社会、文化に及ぶ幅広い分野にまたがる創造的、総合的学問であり、職域も極めて多岐にわたっています。そのため建築学科では建築技術に関する基礎的専門知識の習得を基本に置きながら、卒業後、多方面で活躍できるよう幅広い教養と豊かな人間性と創造力を身につけた総合力のある人材を育成することを目的としています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

1) 本学の建学の精神・教育目標、教育方針をよく理解し、入学後の修学に必要な基礎学力を有する人。【知識・技能】

2) 創造的なことが好きで、何かを達成するための努力と創意工夫が苦にならない人で、より確かなデザイン力を身につけたいと意欲があり、また、多くの人と協働して物事に取り組むことのできるコミュニケーション能力を持つ人。【思考・判断・表現】

3) 生活空間や建築、都市、環境に興味や関心があり、多様な人々と協働しながら主体的に学習する意欲を維持することができる人。【主体性・協働して学ぶ態度】

4) 将来、社会的に影響のある仕事や生活空間を豊かにする仕事がしたいという夢を持ち、それを実現する意欲と情熱を燃やし続けることができる人。【思考・判断・表現】

## 情報デザイン学科

### 教育研究上の目的

本学の建学の理念、学部の目的に基づき、情報デザインに関する理論及び技術を教授研究し、良好な社会環境・人間環境の創造に寄与し、高度な専門性を修得した人材を養成することを目的とする。(学則第2条の2(2))

### 人材養成像

豊かな人間性と幅広い教養を備え、情報デザインに関する理論的及び技術的知識と情報技術能力、実務的技術能力を修得した高度専門職業人を養成する。(学則第2条の3(2))

### ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に学士(工学)の学位を授与する。

#### 1) 豊かな人間性と社会人基礎力

人間性豊かでコミュニケーション能力の高いデザイナーや技術者として、主体性を持って他分野の人たちと協働して課題に取り組むことができる。【主体性・協働して学ぶ態度】

#### 2) 創意工夫力・問題解決力

社会的課題を発見し、幅広い知識と柔軟な思考でよりよい社会の実現に向けた解決策を提示することができる。【思考・判断・表現】

#### 3) 専門的知識・技術の活用力

社会の課題解決に向けて具体的な提案を的確に伝えることができる。【知識・技能】

#### 4) 実務型技術者としての実践力

社会人基礎力を身につけ、情報技術とデザイン力で地域社会や産業界に貢献することができる。【知識・技能】

### カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

#### 1) 教養教育科目

知識や教養、倫理観、社会性を身につけたデザイナーや技術者を育てるため、導入科目群から基礎科目群、応用科目群、教養科目群をバランスよく配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】

#### 2) 社会人基礎力養成科目

社会人基礎力の育成に向け学生が企業人と協働して課題解決を目指すプロジェクトなどの能動的授業科目を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】

#### 3) 専門総合教育科目

自信や気力にあふれ創意工夫のできるデザイナーや技術者の育成に向け、3年次、4年次と進むにつれ、より専門性の高い科目やゼミナールを配置し、4年次には少人数教育で専門領域の知識を深めるため卒業研究を配置する。【思考・判断・表現】

#### 4) 学部共通科目・専門教育科目

人間性豊かで社会に貢献できるデザイナーや技術者を育てるため、1年次は情報デザインの基礎科目や教養科目を中心に配置する。2年次に基礎的演習などでデザインやプログラミングの知識・技能・技術、プレゼンテーションに必要な表現技術を修得する科目を置く。3、4年次では卒業後も見据えてメディア&コミュニケーションデザイン、人間環境プロダクトデザイン、情報システムデザインの3分野の専門性の高い科目を配置する。【知識・技能】

### アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

情報デザイン学科は、豊かな人間性とデザインスキルを兼ね備えたデザイナーあるいは技術者の育成と輩出を通して、社会に広く貢献したいと考えています。この方針に基づき、次のような入学者を求めます。

1) 本学の建学の精神・教育目標、教育方針をよく理解するとともに、情報社会の進展の中で、より確かなデザイン力や高度な情報リテラシーを身につけることに意欲があり、これを修得するための基礎学力を有する人。【知識・技能】

2) デザインやものづくりに関心があり、自己のデザインや技能・技術によって社会へ貢献したいという意欲を持つ人。【思考・判断・表現】

3) 生活環境や社会を豊かにしたいという夢を持ち、他分野の人たちと協力してそれを実現する強い意思を持ち続けることができる人。【主体性・協働して学ぶ態度】

4) デザインをより深く理解し、生活や社会の中で創造的に活用していくことに向けて努力を続けることができる人。【知識・技能】

学部共通科目 デザイン学部			1	2	3	4
区分	科目番号	科目名	豊かな人間性と社会人基礎力	創意工夫力・問題解決力	専門的知識・技術の活用力	実務型技術者としての実践力
学部共通科目	DX107	デザイン学概説	○	○		
	DX108	工学概説		○		
	DX109	美術史				○
	DX111	デザイン心理学		○		○
	DX112	経済学概論				○
	DX113	データサイエンス入門	○	○	○	
	DX114	デザインのための幾何学		○		
	DX301	メディア文化論		○	○	○
	DX304	映像メディア論		○	○	○
	DX309	生活と環境		○		○
	DX311	北九州学				○
	DX314	人間工学	○	○	○	
	DX315	データサイエンス基礎		○		
	DX316	SDGs	○	○		○
	DX317	デザインと数学		○		
	DX501	インテリアデザイン		○	○	○
	DX505	会計学入門				○
	DX507	ビジネスと経済				○
	DX508	まちづくり学	○	○	○	
	DX509	デザインサイエンス		○		
DX902	企業実習	○	○	○	○	

建築学科			1	2	3	4
区分	科目番号	科目名	豊かな人間性と社会人基礎力	創意工夫力・問題解決力	専門的知識・技術の活用力	実務型技術者としての実践力
教育教員	DA101	造形演習	○	○	○	○
	DA102	建築製図			○	○
	DA104	建築デザイン基礎	○	○	○	○
	DA105	建築構法デザイン			○	○
	DA106	住宅デザイン			○	○
	DA107	2D・CAD			○	○
	DA108	近代建築史			○	○
	DA301	建築材料概説			○	○
	DA302	建築設計Ⅰ	○	○	○	○
	DA303	建築力学Ⅰ			○	○
	DA305	建築環境工学Ⅰ			○	○
	DA306	建築設計Ⅱ	○	○	○	○
	DA308	建築力学Ⅱ			○	○
	DA309	建築計画Ⅰ			○	○
	DA311	建築環境工学Ⅱ			○	○
	DA312	建築計画Ⅱ			○	○
	DA313	建築力学Ⅰ演習			○	○
	DA314	建築力学Ⅱ演習			○	○
	DA315	木質構造			○	○
	DA316	建築プレゼンテーション	○		○	○
	DA317	西洋建築史			○	○
	DA318	建築施工			○	○
	DA319	日本建築史			○	○
	DA320	建築材料			○	○
	DA501	都市地域計画			○	○
	DA503	建築設備Ⅰ			○	○
	DA505	鉄骨構造Ⅰ			○	○
	DA506	建築総合演習	○	○	○	○
	DA507	建築法規			○	○
	DA508	建築設備Ⅱ			○	○
	DA511	建築力学Ⅲ			○	○
	DA515	鉄骨構造Ⅱ			○	○
	DA521	建築測量学演習			○	○
	DA522	建築材料実験			○	○
	DA523	建築構造実験			○	○
	DA524	BIM			○	○
	DA525	鉄筋コンクリート構造			○	○
	DA526	耐震工学			○	○
	DA527	空間デザイン		○	○	○
	DA904	建築ゼミナールⅡ	○	○	○	○
DA905	建築ゼミナールⅠ	○	○	○	○	
DA991	卒業研究Ⅰ	○	○	○	○	
DA992	卒業研究Ⅱ	○	○	○	○	
DA109	空間表現演習	○	○	○	○	

情報デザイン学科			1	2	3	4
区分	科目番号	科目名	豊かな人間性と社会人基礎力	創意工夫力・問題解決力	専門的知識・技術の活用能力	実務型技術者としての実践力
専門教育科目	DD101	情報デザイン概論	○	○	○	○
	DD104	コンピュータ概論				○
	DD107	CAD演習 I			○	
	DD114	写真・映像基礎		○	○	
	DD116	プログラミング I		○		○
	DD117	Webデザイン I			○	○
	DD121	デジタル画像基礎	○		○	○
	DD123	グラフィックデザイン I	○		○	○
	DD124	基礎造形 [平面]	○		○	
	DD125	基礎造形 [立体]	○		○	
	DD126	スケッチ			○	
	DD127	デザイン演習 I	○	○	○	
	DD128	デザイン演習 II	○	○	○	
	DD302	ネットワークとセキュリティ				○
	DD308	CAD演習 II			○	
	DD326	プログラミング II		○	○	○
	DD327	企画制作	○	○	○	○
	DD329	グラフィックデザイン II	○	○	○	○
	DD330	3 DCG演習 I	○		○	○
	DD331	3 DCG演習 II	○	○	○	○
	DD332	Webデザイン II	○	○	○	○
	DD333	映像デザイン		○	○	
	DD337	UXデザイン	○	○	○	
	DD338	プログラミング III		○	○	○
	DD339	プロダクトデザイン		○	○	
	DD340	デザイン演習 III	○	○	○	○
	DD341	デザイン演習 IV	○	○	○	○
	DD342	イノベーションとデザイン	○	○	○	○
	DD502	データベース論				○
	DD506	マーケティング論	○	○	○	○
	DD507	広告論	○	○	○	○
	DD531	デザイン総合演習	○	○	○	○
	DD532	情報システム		○	○	○
DD533	デザインプロジェクト I	○	○	○	○	
DD534	デザインプロジェクト II	○	○	○	○	
DD535	プログラミング IV		○	○	○	
DD905	情報デザインゼミナール I	○	○	○	○	
DD906	情報デザインゼミナール II	○	○	○	○	
DD991	卒業研究・デザイン I	○	○	○	○	
DD992	卒業研究・デザイン II	○	○	○	○	

## 教職科目（教職に関する科目）

### 教員養成のポリシー

- 専門科目と教職科目の有機的な連携を図りながら、工業大学としての特徴を十分に活かした高度の専門性を有する教員を養成する。
- 中学校から高校にかけての発達段階の異なる生徒に、分かりやすく知識や技術を伝え、その学びを支援しうる能力を有する教員を養成する。
- 教育者としての職業モラルを身につけ、社会人としての人間力形成能力やコミュニケーション能力、自己啓発能力を有する教員を養成する。

### ディプロマ・ポリシー

#### 1) 豊かな人間性と社会人基礎力

豊かな人間性に根ざした倫理観、幅広い教養、理論と実践を結びつける学習姿勢を身につけ、教育者としての使命感と責任感、適切な社会性や他者との協調性を持ち、主体的に行動することができる。 【主体性・協働して学ぶ態度】

#### 2) 創意工夫力・問題解決力

現代の教育をめぐる多種多様な問題について理解し、情報技術・コミュニケーション力を備え、創意工夫しながら課題解決に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】

#### 3) 専門的知識・技術の活用力

教科指導、生徒指導のための知識及び教科等に関する専門的知識を修得し、工業技術やデザインに関する知識・技能を教授することができる。 【知識・技能】

#### 4) 実務型技術者としての実践力

教育に関する理論及びそれを実践する基礎技能を身につけ、ものづくりやデザインに関わる人材の基礎教育を担うことにより地域社会や産業界に貢献することができる。 【知識・技能】

教職科目				1	2	3	4
区分	科目番号	科目名		豊かな人間性と社会人基礎力	創意工夫力・問題解決力	専門的知識・技術の活用力	実務型技術者としての実践力
【令和元（2019）年度 入学生から】							
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎理論に関する科目	CT101	教職概論	○			○
		CT102	教育学概論	○			○
		CT103	教育心理学	○			○
		CT301	教育制度学		○		○
		CT307	特別支援教育	○	○	○	
		CT501	教育課程論		○		○
	道徳、総合的な学習等の指導法及び生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目	CT517	道徳教育の指導法	○	○	○	
		CT309	特別活動・総合的な探究の時間の指導法		○	○	
		CT106	教育方法・情報通信技術活用論		○	○	
		CT303	生徒・進路指導論	○	○	○	
		CT306	教育相談	○	○	○	
	教育実践に関する科目	CT511	教育実習Ⅰ	○	○	○	○
		CT512	教育実習Ⅱ	○	○	○	○
		CT513	教育実習指導	○	○	○	○
		CT514	教育実践演習（中・高）	○	○	○	○
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（数学）	CT502	数学科教育法Ⅰ		○	○	
		CT503	数学科教育法Ⅱ		○	○	
		CT504	数学科指導法Ⅰ		○	○	
		CT505	数学科指導法Ⅱ		○	○	
	各教科の指導法（工業）	CT506	工業科教育法Ⅰ		○	○	
		CT507	工業科教育法Ⅱ		○	○	
	各教科の指導法（情報）	CT508	情報科教育法Ⅰ		○	○	
		CT509	情報科教育法Ⅱ		○	○	
	職業指導（工業）	CT515	職業指導Ⅰ		○	○	
		CT516	職業指導Ⅱ		○	○	
情報と職業（情報）	CT305	情報と職業		○	○		

※ 教科及び教科の指導法に関する科目は、記載以外に、各教育課程表の一部科目が対象となっている。

# 大学院 工学研究科

## 教育研究上の目的

工学生産系分野（生産システム分野）におけるエネルギー、保全、制御、半導体、高度情報融合系分野（融合情報システム分野）における情報、AI、デザイン工学、及び自然・人間環境分野（環境システム分野）における土木、防災、建築、デザインなどに関わる学術技術の理解と応用を教授研究し、幅広い技術システムへの対応能力を備え、異分野との融合を図りながら課題解決に貢献できる有為な人材を育成することを目的とする。（大学院学則第2条および第6条）

## 人材養成像

幅広い社会的見識と工学系分野における柔軟な技術応用能力を育成し、課題に対して異分野との融合を図りながら挑戦・解決する能力を備えた高度専門技術者を養成する。（大学院学則第2条の2）

### (1) 生産システム分野（工学生産系分野）

エネルギー、保全、制御、半導体などに関する高度な専門性を修得し、工学生産技術システムへの対応能力を備え、持続可能な地域社会や産業の発展に貢献できる有為な人材を養成する。

### (2) 融合情報システム分野（融合情報系分野）

情報、AI、デザイン工学などに関する専門性を修得し、高度情報システムへの対応能力を備え、DX/GXの推進に貢献できる有為な人材を養成する。

### (3) 環境システム分野（自然・人間環境分野）

土木、防災、建築、空間デザインなどに関わる高度な専門性を修得し、自然・人間環境技術システムへの対応能力を備え、地域の発展と文化・福祉に貢献できる有為な人材を養成する。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

所定のカリキュラムを履修し、次の資質・能力を身につけると共に、必要な単位を修めた学生に修士（工学）の学位を授与する。

### 1) 豊かな人間性と社会人基礎力

幅広い社会的見識と豊かな人間性を兼ね備えた高度専門技術者として、人間と地域や自然との関わり及び生産、情報、デザイン、環境、あるいはそれらの融合技術の役割と位置づけを幅広く理解し、将来を洞察し、分野に縛られない判断力を身につけマネジメントすることができる。【主体性・協働して学ぶ態度】

### 2) 創意工夫力・問題解決力

創意工夫をしながら自己の研鑽を日々行う高度技術者として、キャリアアップに関して必要な事柄・目標を自ら設定し、物事を計画的に進めるとともに、創意工夫を凝らした課題解決法を考案し実行することができる。【思考・判断・表現】

### 3) 専門的知識・技術の活用力

生産、情報、デザインあるいは環境技術に関する専門的な知識を有する高度技術者として、必要な異分野に関する専門力をも習得して自らの研究に応用し、最新の技術動向を収集・蓄積し、オリジナルな課題解決を図ることができる。【知識・技能】

### 4) 実務型技術者としての実践力

各分野における実務能力、ICT活用力、表現力に富む高度技術者として、各分野における実務能力を備え、課題の解決に活用することができる。さらに、自らが得意とする技術力に、必要に応じて異分野技術を融合し自らの目的達成に応用できるとともに、自己の考えを的確に表現できる。【知識・技能】

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

カリキュラムを以下の方針に基づいて編成する。

### 1) 分野共通科目

幅広い社会的見識と倫理観及び豊かな人間性を兼ね備えた高度専門技術者を育成するために、人文系・社会系・マネジメント系科目を含む共通科目群を配置する。【思考・判断・表現】【知識・技能】

### 2) 社会人基礎力養成科目

各分野における実務能力、ICT活用力、表現力に富む高度技術者を育成するために、演習科目群及びインターンシップ科目群を配置する。【主体性・協働して学ぶ態度】

### 3) 専門総合教育科目

創意工夫をしながら自己の研鑽を日々行う高度技術者を育成するために、主に1年次に専門基礎科目群を配置する。さらに、高度専門技術者としての思考力・判断力・表現力を養うために通年で生産・環境システム特別演習（1年次）・研究（2年次）を配置する。

### 4) 専門教育科目

生産技術、情報技術あるいは環境技術に関する専門的な知識を有する高度技術者を育成するために必要な専門応用科目群を、分野間で横断的に受講できるように配置する。【知識・技能】

## アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

本学の建学の理念及び大学院の理念・目的を理解し、機械工学、電気電子工学を中心とする生産システム分野、情報工学、デザイン工学を中心とする融合情報システム分野、あるいは土木工学、建築学、デザインの環境システム分野のいずれか、または複数の研究領域に高い関心と課題解決のための研究意欲を持つ次のような入学者を求める。

- 1) 大学院における教育研究にふさわしい専門学力と一般教養を有する人。 【知識・技能】
- 2) 責任感、協調性と豊かな感性があり、幅広い社会的見識と工学分野における柔軟な技術応用能力の修得を目指す人。また、この分野における生産、情報、デザイン及び環境技術に関連する技術者や研究者を目指し、共同研究・開発、プロジェクト活動及び地域活動などに積極的に参加する意欲を持つ人。 【思考・判断・表現】
- 3) 生産技術、情報技術または環境技術、さらにはそれらの融合技術によって課題解決しようとする高度技術者を目指している人、及び研究力を高め、創意工夫力を向上させるための努力を続けることができる人。 【主体性・協働して学ぶ態度】
- 4) 生産システム分野、融合情報システム分野あるいは環境システム分野における基礎学力を駆使して課題解決するための努力を続けることができる人。 【知識・技能】

大学院工学研究科(生産・環境システム専攻)						
区分	科目名		1 豊かな 人間 性と社 会人 基礎 力	2 創意 工夫 力・問 題解 決力	3 専門 的知 識・技 術の活 用力	4 実務 型技 術者 とし ての 実践 力
共通 科目	MC103	知的財産戦略論	○			
	MC109	社会心理学特論	○			
	MC112	人間・感性工学特論	○			○
	MC114	環境マネジメント論	○		○	○
	MC115	科学技術英語特論	○			
	MC116	メディアデザイン特論			○	
	MC501	生産・環境システム特別研究			○	○
	MC502	生産・環境システム特別演習		○	○	○
専 生 門 産 科 シ 目 ス テ ム 分 野	MS104	制御工学特論			○	
	MS106	電気応用工学特論			○	
	MS108	電子デバイス特論			○	
	MS114	生産システム特別実習		○		○
	MS120	成形加工特論			○	
	MS125	機械・電気エネルギー工学特論			○	
	MS126	機械・電気材料学特論			○	
	MS127	スポーツ工学特論		○		○
分 融 野 合 専 情 門 報 科 シ 目 ス テ ム	MS109	情報通信工学特論			○	
	MS128	ロボットデザイン特論		○	○	
	MS129	人工知能特論			○	
	MS130	数値モデル化特論			○	
	ME134	空間情報工学特論	○		○	
	ME138	ジェネラティブデザイン特論			○	
	MS131	融合情報システム特別実習		○		○
環 境 シ ス テ ム 分 野 専 門 科 目	ME108	空間デザイン史特論			○	
	ME109	学外構造系インターンシップ			○	○
	ME118	環境システム特別実習		○		○
	ME123	耐震工学特論			○	
	ME125	空間設計論			○	
	ME126	住環境デザイン論			○	
	ME136	水環境工学特論	○		○	○
	ME139	地盤工学特論			○	
	ME305	学外プロジェクト型インターンシップ I		○	○	○
	ME306	学内プロジェクト型インターンシップ I		○	○	○
	ME309	建築材料工学特論			○	
	ME502	学外プロジェクト型インターンシップ II		○	○	○
	ME503	学内プロジェクト型インターンシップ II		○	○	○